No.8

わたし、アナタ、min-na

そのすがたがうれしい

2016年11月24日　市立札幌開成中等教育学校便り

〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/

海外見学旅行特集!!

10月19日から10月24日にかけて5年次が海外見学旅行へ行きました。また、4年次も11月1日、2日に宿泊研修を行いました。11月28日、29日には２年生の宿泊研修も始まります。今月の学校便りは、前期のお子様も４年生で実施される海外見学旅行特集です。

<スーパサイエンスハイスクール研修>

10 月 19 日 10：00、参加者 120 名が新千歳空港に集合し出発、シドニーへは翌日 12：30 に到着しました。まずは、動物園に行き、コアラやカンガルーと写真を撮り、オーストラリアを実感しました。そして、夕方はホストファミリーとの対面、しっかり英語で会話をして、ホストファミリーの家へ向かいました。3 日目は、現地の学校との交流、コズモサイエンスⅠで研究している内容を、英語でプレゼンしました。そのあと、クリケットなどのスポーツ交流や文化交流をしました。4 日目は、午前中ホストファミリーと過ごし、5 日目は、オペラハウス・シドニー水族館を全員で見学後、研修班ごとで市内散策。22：20 にシドニー空港を出発し、翌日の 18：00 に新千歳空港に到着しました。今回の旅行を通して感心したのは、常に生徒自身が状況を考え行動を起こしていたことです。さすがＳＥＬＦ！いよいよ受験！この調子で、これからも主体的に動いていこう。

〈スーパーグローバルハイスクール研修〉

１日目と６日目は移動日。２日目はマレーシアの首都クアラルンプル市内を見学後、バングリス村に向かい、４～５人ずつに分かれて各家庭へ。3 日目コタ・ダマンサラ第 10 中等教育学校を訪問、グループディスカッション・文化交流など。午後はバティック（ろうけつ染め）体験。4 日目空路シンガポールに向かい、Yale-NUS College へ。入試担当者と学生の説明の後構内と寮を見学。マーライオン公園で記念撮影後、ナイトサファリ。5 日目 9 時から 20 数名の国立シンガポール大学生を迎え、全体プレゼンテーションのあと 8 つに分かれてプレゼンとディスカッションを 3 セット実施。12 時から自主研修の班ごとに 1～3 名の学生がついて昼食と市内散策などを実施。異文化交流に重きを置いた、刺激の多い SELF を実践する研修となりました。

<グローバルリーダー研修>

４年次のグローバルリーダー研修が NTT 北海道セミナーセンタで行われました。１日目は SGH 探究パートナー黒井理恵様を講師に招いてのチームビルディングワークショップ。必ず男女混合でグループを作るという命題で男子の多い人数構成のため放っておいたら男子があふれる中で女子を如何に確保するかというネゴシエーションを経験するなど「自分から動く」「状況を見て判断する」を意識しました。翌日は英語漬けとなるグローバルリーダーワークショップ。株式会社ロックウェル様のご協力から 20 名のネイティブスピーカーを招聘し英語で考え英語でやり取りする機会を得ました。そこでオリジナルのオリンピックエンブレムを作るアクティビティを一緒に取り組みました。英語でやり取りしながら創作とプレゼンテーションの準備をする姿に前日の成果が見て取れました。２日間の研修の成果は今後の２期生の課題探究によりアンサーが出ます。我々スタッフ一同その成果を発揮する姿を楽しみにしています。

学校評価・中間評価について

先月、保護者の皆様、生徒の皆さんの御協力を得て「学校評価アンケート」を実施し、その結果をもとに学校として「中間評価」を行いましたので、その内容をお知らせいたします。

【資料１】「アンケート結果」（生徒・保護者）

【資料２】「学校評価・中間評価」

今年度、本校では学校教育目標に基づき「課題探究的な学習に向き合う環境を整える」「様々な文化と出会い交流できる環境を整える」「徐々に範囲を広げながら安心して挑戦できる環境作り」を重点目標に掲げて日々取り組んできました。その中、評価項目「課題探究」や評価項目「見守り体制、安全・安心な学校」については、保護者・生徒の皆さんから高い評価を得ることができました。また、昨年度末の反省としてあげられていた、ＩＢ（国際バカロレア）やＳＳＨ・ＳＧＨプログラム等の学校からの情報発信に関しての課題についても、保護者のアンケート結果からは改善の取組みに対する前向きな評価を頂きました。保護者の皆様へ対しては、引き続き情報発信に努めるとともに、校内においては、ＩＣ（校内研修）の充実ＩＢセンターの積極的活用を進めて行きたいと考えます。

ただ、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。」の生徒向けアンケート項目には課題が見られ、これは今年度の重点目標に掲げている「様々な文化と出会い交流できる環境を整える」「徐々に範囲を広げながら安心して挑戦できる環境作り」につながるものであり、右下にあるような具体的な取組みを通して後期に向けて努力していきます。

11月９日に「第２回学校関係者評価委員会」を開催し、委員の方々から、学校の「自己評価（中間評価）」が適切に行われているか、また改善に向けての取組が行われているかについて様々な御意見・御助言をいただきました。これらの御助言も参考にしながら、今後も引き続き「わたし、アナタ、min-na　そのすがたがうれしい」という学校教育目標が、教職員・生徒ともに日々の学校生活において実感できる学校をめざし、取り組んでいきたいと思いますので、今後とも御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

「学校関係者評価委員」　　※敬称略

○　イアン・ブレイジア
（オーストラリア領事館・領事）
○　飯田　直弘
（北海道大学高等教育推進機構・准教授）
○　小野　隆伸　（資友会・会長）
○　加藤　幸子　（ＰＴ会・会長）
○　斎藤　　彰
（開成高校同窓会「玉成会」・前会長）
○　本村　良一　（元町連合町内会・会長）

<今後の主な行事予定>

11/24～29　ⅣＶ第３回定期考査
12/01～03　ⅣSSH 屋久島プロジェクト
12/10・17　Ｌセミナーサタデー
12/14　　吹奏楽部コンサート
12/16・19　演劇部冬公演
12/26　　冬季休業開始
12/26・27　Ｌセミナー
12/29～1/03 学校閉鎖

２年生による提言
「開成と地域をつなぐ」公開プレゼンテーション

札幌市全域から通学する開成中等は、地域とのつながりが希薄になりがちです。地域と学校のつながりとはどういうものなのか、どうしたらつながれるのか。２年生は国語で論理を学ぶ課題としてこの問題に取り組みました。各チームで選ばれた６名の提言から、開成と地域のみらいについてともに考えましょう。

ゲスト　市立札幌開成中等教育学校長　相沢　克明氏
　　札幌市教育委員会学校教育部　広川　雅之氏
プレゼンター　市立札幌開成中等教育学校２年生

日　時　平成 28 年 12 月 14 日（水）　16：00～16：50
会　場　社会４・５教室
申し込み方法
観覧希望の方は、本校（788-6987）まで電話にてお申し込みください。その際「開成と地域をつなぐプレゼン」とお伝え下さい。